

おぎ の やす お 荻野 泰男

市政レポート Vol.72

(納得できる所沢市政を!!) May, 2019

Yasuo Ogino Tokorozawa Shisei Report



祝！上藤沢・林・宮寺間新設道路 1工区開通

所 沢市と入間市との共同事業として整備が進められている上藤沢・林・宮寺間新設道路のうち、1工区（国道463号バイパスから浅間山通りまでの約740m）が3月23日に供用開始となり、開通式が執り行われました。荻野泰男も所沢市議会を代表して祝辞を述べるとともにテープカットの大役を務めさせていただきました（写真右から2人目）。

私はこの新設道路の整備事業について、議員1年目から10回以上にわたり、一般質問などにおいて取り上げてきました。継続的に取り組んできた唯一の議員として、長年の悲願が一つの形となり、地権者をはじめ、関係各位に感謝申し上げます。



【上藤沢・林・宮寺間新設道路整備事業のこれまでの経緯】

1. 事業の概要（経緯・区間・事業費等）は？

●平成14年7月に三ヶ島第6区自治連合会・林を考える会等から提出された市道拡幅要望が入間市の都市計画道路の延伸計画と重複する箇所があったことから、両市が協議を重ねた結果、新設道路の整備事業が開始されました。



●事業区間は、463バイパス「上藤沢南交差点」を起点に浅間山通り「林きた交差点」北側を經由し、入間市宮寺地内の「うどん店甚五郎」付近の県道所沢青梅線までの総延長2654m（所沢市1645m、入間市1009m）。幅員は12.5m（うち歩道2.5m）。

●1工区の総事業費は、約6億7400万円であり、その内訳は所沢市分約4億4800万円（用地費・物件移転等補償費約2億800万円、工事費約2億4000円）、入間市分約2億2600万円（用地費等約1億1800万円、工事費約1億800万円）となります。

2. 紆余曲折もありましたが、さらに先へ…

●ここ数年は概ね予定通りに進んでいた新設道路整備事業ですが、振り返ってみると、少なからず紆余曲折がありました。忘れてはならないのは、いわゆる「リーマンショック」が発生した頃、**事業の優先度が引き下げられそうになった**ことがありました。

●これを受けて、地元自治会の方々などに相談し、平成21年1月、三ヶ島第6区自治連合会、林を考える会並びに三ヶ島第5区自治会の連名で当時の当摩市長に対して、再度要望書を提出していただきました（写真右下）。また、先輩議員（秋田孝元議長）にお力添えをいただき、当時の西久保副市長に直談判した甲斐があって、**平成21年度に600万円の測量委託料が計上**されました。なお、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響で予定されていた住民説明会が延期になったこともありました。

●残すところ2工区、3工区となりますが、「**一日も早い全線開通を目指す**」との力強い言葉が両市長からありました。私も地元議員として、引き続き全力で取り組んでまいります。



三ヶ島 工業団地 の 拡張に向けて

始まりはちょうど10年前…

私が上藤沢・林・宮寺間新設道路の整備とともに地域の最重点課題として位置づけてきたのが、**三ヶ島工業団地の拡張**です。このテーマについても議会でもただ一人継続的に取り組んできました。

今から遡ること10年前、平成21年（2009年）の春、当時所沢三ヶ島工業団地協同組合の事務局長を務めていた新井高志氏からお声掛けをいただき、**工業団地の将来的な拡張を目指して勉強会などに参加**するようになりました。

満を持して議会で取り上げようとしたものの…

現理事長の三上誠氏をはじめ工業団地関係者と定期的に情報交換を重ね、平成21年12月定例会で初めて一般質問しようとしたのですが、市の担当課との調整の中で「**可能性は低く答えられない**」旨の話もあり、工業全般の質問に変更を余儀なくされました。それでも、このとき工業関係者への意向調査の実施を求めたことが、平成23年度に予算化された**事業所操業環境状況調査の実施**につながりました。



毎定例会のように粘り強く質問を続け…

その後も毎定例会のように企業からのニーズに応える生産基盤づくりや土地利用の見直し、工業立地としてのポテンシャル、企業誘致優遇制度の導入等について、粘り強く一般質問で取り上げました。また、協同組合が武蔵藤沢駅との間で運行している**通勤用バスに対する補助金**の要望の後押しをさせていただいたところ、平成23年度から200万円が予算化されました。平成23年12月には就任直後の藤本市長に対し、**三ヶ島工業団地地区周辺の都市計画の見直しの可能性**について質しました。



さまざまな議論や調査を経て…

平成24年度に開催された**工業活性化施策策定委員会**からの提言の中で「三ヶ島工業団地については、現状では市街化調整区域にあり、立地事業所の安定的な操業環境の整備という観点から見れば用途地域に指定されていることが望ましい」と指摘されるとともに、同年度に実施された**企業誘致可能性調査**により、三ヶ島工業団地周辺地区については、圏央道を活用した近隣市の産業集積とも一体化した産業ネットワーク拠点の創出という大きな可能性も示されました。

【三ヶ島工業団地入口交差点の誕生まで】

三ヶ島工業団地や西部クリーンセンターからほど近い交差点（山田うどん所沢林店所在）には以前は信号機が設置されていませんでした。しかしながら、近隣での大型アウトレットモールのオープン等もあり、交通量が増加し、右左折時には大きな支障が生じるようになりました。そのため、工業団地関係者らとともに粘り強い要望活動を行っていたところ、当時県議だった藤本市長の協力も得て、平成24年3月に待望の信号機が設置されました（写真左）。



その際、工業団地内のある事業所の方からのご提案を受けて、私が要望書を作成させていただき、地元自治会・工業団地協同組合との連名で提出しました。すると、ほどなくして交差点に「三ヶ島工業団地入口」との地点名標識が設置されることになりました（写真右）。もちろん、その後カーナビにも表示されています。

都市計画マスタープランへの位置づけが大きな一歩に・・・

平成25年度に改定された街づくり基本方針（都市計画マスタープラン）の中で「三ヶ島工業団地周辺地区については既存の工業団地の拡張に向けた土地利用を目指す」という内容が明確に盛り込まれました。平成26年度に作成された産業用地創出基礎資料作成業務委託報告書に基づき、平成27年度は地域への説明や県との協議が進められました。また、27年12月に行った私の質問に対し、産業経済部長から新たな産業用地の創出にあたっての課題として、①法的な土地利用規制を変更する手続き、②地権者の方々の合意形成、③進出企業の誘致が示されました。

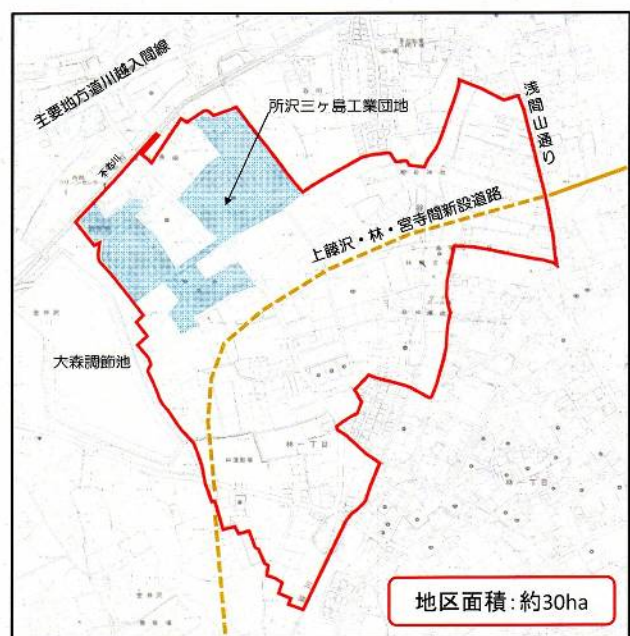
市も三ヶ島工業団地周辺地区を最優先に取り組むと明言

29年6月に行った私の質問により、街づくり計画部長から「三ヶ島工業団地周辺地区については、区域区分を見直し市街化区域に編入し、土地区画整理事業により良好な操業環境を備えた産業団地の創出を目指す」方針が明らかにされました。さらに同年12月には土地利用転換推進エリア3地区（三ヶ島・松郷・所沢IC）の中でも、三ヶ島は「意向調査で8割以上の地権者から前向きな回答があり、入間ICからのアクセスも良く、造成工事期間の短縮と企業の早期立地も期待できることから、優先的に取り組んでいく」旨の答弁がありました。

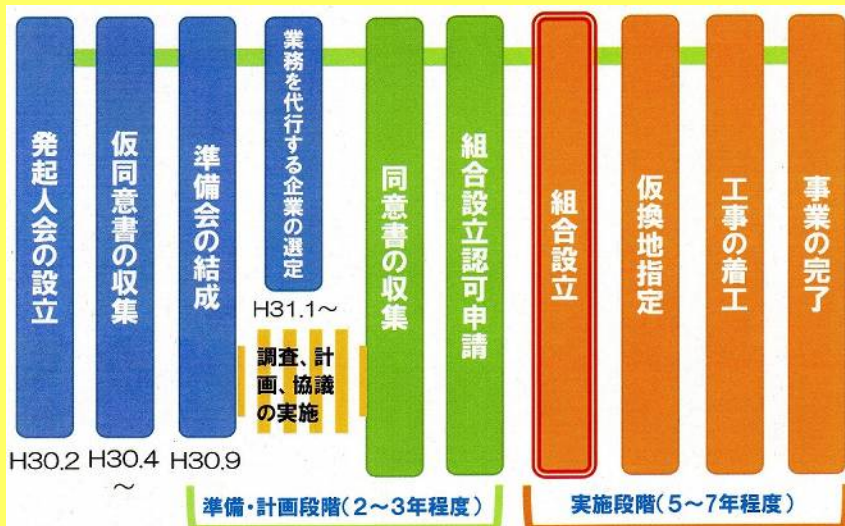
私と三ヶ島工業団地とのご縁を結んでいただいた新井前事務局長は残念ながら24年10月に他界されました。上記信号の点灯式には病をおして出席され、喜ばれていた姿は今でも忘れられません（写真右）。今後も新井氏の遺志を継いでいくのが私の使命であると思っております。



■三ヶ島工業団地周辺地区



土地区画整理事業の全体的な流れは下図のとおりとなります。今後は準備会や選定された企業を中心ににより具体的な検討が進められることとなります。



【林地区周辺における悪臭問題にも取り組みました】

長年にわたり、三ヶ島地区の課題の一つとなっていたのが、**林地区周辺をはじめとする悪臭問題**です。このテーマについては、平成23年6月、26年12月、28年3月と3回にわたり、一般質問において取り上げてきました。また、22年12月と28年6月の2回、三ヶ島第6区自治会や所沢三ヶ島工業団地協同組合等の関係者の皆様とともに悪臭の原因とされていた**入間市宮寺地内の事業所**（畜産業・食品廃棄物の処理業者）の現地見学会にも参加いたしました。

27年7月、所沢市は地域住民からの要望を受け、指導権限のある**埼玉県知事と入間市長**に対し、当該事業所に対する強い指導を求める文書を提出するとともに、月1回は合同で立ち入りを行い、事業主に対して直接指導を行ってまいりました。

それを受けて、畜舎内で大量保管していた堆肥や狭山ヶ丘高校グラウンド北側の敷地で野積みされた**大量の堆肥も概ね撤去**されたことにより、**周辺の悪臭の状況が一定程度改善**されたことを確認しています。

所沢市としては県や入間市と協力しながら、悪臭の低減と再発防止に向けて対応していくとしているところですが、私としても引き続き動向を注視してまいります。

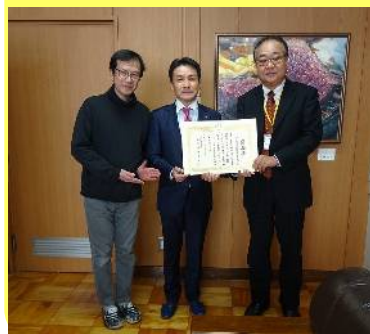


▲畜舎内の堆肥の状況（左・27年4月／右・28年5月）

【芸術総合高等学校に感謝状を贈呈！】

平成24年6月定例会から7年間にわたり、**議会の開催を告知するポスター**に**県立芸術総合高等学校**（三ヶ島2丁目）から毎回素晴らしい写真を提供していただきました。本年3月定例会分をもって、写真のご提供が一区切りになったことを受け、2月12日に同校を訪問し、桑原浩校長先生（写真右端）らに**市議会を代表して感謝状を贈呈**させていただきました。

私が広聴広報委員会の副委員長を務めていたときに始まった連携なので、不思議なご縁も感じたところです。



ホームページを
リニューアル
しました！！

※これまでに発行した
市政リポートのバック
ナンバー、一般質問通
告書、政務活動費収支
報告書などを公開して
います。

【プロフィール】

- 1970（昭和45）年2月3日、所沢市生まれ。至誠自民クラブ（保守系第一会派）所属。
- 所沢市立三ヶ島小学校、早稲田中・高等学校、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
- 松竹（株）、豪州留学などを経て、現在 社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー（CFP認定者）。
- 行政書士・日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート・TOEIC 885点などの資格を保有。
- NPO法人「田中秀征の民権塾」塾生・所沢明生病院地域評議員・埼玉県防災士会会員。
- 2015年4月、所沢市議会議員選挙にて当選（連続3期）。現市議会議長（第64代）。



ご意見・お問い合わせ等

090-8115-3715

【Homepage】 www.oginoyasuo.com

【E-mail】 tokorozawa@oginoyasuo.com

●令和元年5月1日発行

●荻野泰男事務所

〒359-1166 所沢市糞谷1746-1

TEL 04-2946-7127（期間限定）